



# 金田一宮農組合

東北ハイテク研究会セミナー

## 金田一宮農組合の畦畔・農道の草刈りの実態と 自動化技術への期待



農事組合法人 金田一宮農組合 五日市 亮一

# 経営概要

- 面積: 83ha (筆数 687枚)
- 作目: 水稲31ha 大豆30ha そば14ha 保全8ha
- 役員: 理事4名、監事2名
- 従業員(オペレータ)数: 6名



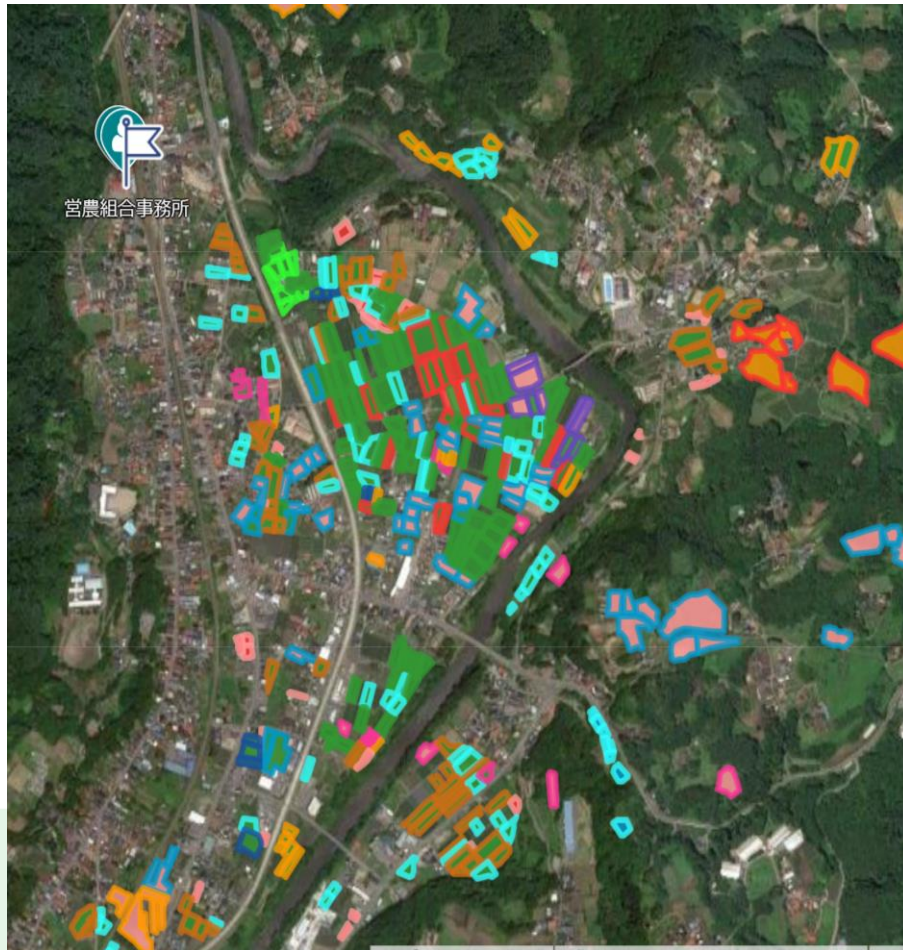
# 経 過

- 2005年 農事組合法人金田一営農組合設立。
- 2006年 全国環境保全型推進コンクール優秀賞受賞。
- 2015年 への海外発信事業によるニューヨーク日本大使館で南部美人日本酒や漆器など「金田一う米」をPR。
- 2017年 インターナショナル・ワイン・コンテスト日本酒部門で金田一地域で生産した酒米「ぎんおとめ」で醸した南部美人特別純米酒がグランドチャンピオン受賞。
- 2022年 金田一営農組合が生産する酒米「きんおとめ」でグローバルGAP認証し継続。



# 草刈り作業の現状

- 中山間地域、圃場が多く点在している。



# 草刈り作業の現状

- 農道、水路、法面の草刈りが多い。



# 草刈り作業の現状

- 多面的機能直接支払事業を活用。
- 共同作業と合わせて保全地域が増加している。



# 自動化技術への期待

- 畦畔の自動草刈りへの期待が大きい。



# 自動化技術への期待

農道や法面の草刈りをトラクターで行えるように  
安全で機敏に動作できるフレールモア。





# 自動化技術への期待

- 地域で作業を進めるときに  
進捗状況が見えると計画を立てやすい。



# 今後の取組

- 効果的作業体系  
→草刈り機械作業と除草剤使用の組合せ。
- ほ場状態の見直し  
→自動化し易い畦畔や法面の形状づくり。
- 働き方改革  
→年間で多いのが草刈り作業時間の現状から  
非農家も働ける環境づくり。

